

令和元年6月3日 校長 高倉 満

～生徒の成長を共有して、頑張り（価値）を伝えましょう～

先生方のおかげで、生徒が躍動し、充実した素晴らしい体育祭でした。生徒会執行部、学年のリーダーを中心に確実に生徒が成長していると感じています。私たち職員も生徒に任せる場面が多くなり、それだけ生徒自身が考え、判断して動く力が育ってきていると思っています。体育祭を終えての感想の中から、生徒の成長ぶりが感じられる内容があると思います。ぜひ、学年や職員室で共有し、生徒にもその頑張り（価値）を伝えていきましょう。

課題を仲間と克服



予行で負けた悔しさをバネに、班練習の中で練習をくり返しやる。お互いで工夫して練習していました。出来たときは皆で喜ぶ、大きな拍手。班の仲間と一緒に頑張ってきたからこそ、本番で勝った時の感動は大きく、自信に繋がる。負けた事を人のせいにならない。赤、緑、青、黄と4班とも切磋琢磨しながら成長できたと思います。

班を越えた応援



多くの場面で応援に頑張っていました。特に3年生が中心となり各競技を盛り上げてくれていました。今年は班コンテストの時に別の班の演技に拍手をおくっていた姿が印象的でした。必死に応援する姿は美しい。1年生から3年生までが学年を越えて応援する。「ほめあう」そんな場面がたくさん見られた体育祭でした。

2-6-2



2割りのリーダーが走ると6割の生徒も走る。残りの2割は走らざるを得ない状況になるそうです。体育祭は生徒会執行部や先生方で目指す姿を創る。生徒会執行部や西見先生は各リーダーに成果と課題を伝える。リーダーがそれぞれの個性を出しながら集団を動かす。まさに組織マネジメント。授業もこうあると効果がありますね。

「授業で学んだことを部活へ 部活で学んだことを授業へ」

■「いつも考えた練習」

どの部活動も工夫して練習をしています。特に吹奏楽部は、土日の練習の時は中央廊下を中心に清掃活動をしたり、呼吸法の練習や腹筋の強化？など考えた練習をしています。これは、私たちが日々の授業でも目指していることでもあります。ただやらされる練習ではなく、この練習は何の為にしているのか。逆にこの課題を克服するためには、どんな練習を行えばいいのか。部長や3年生を中心に考えているのでしょうか。授業で学んだことを部活動で活かす。そんな場を意図的に用意することも大切だと思います。また、部活動で行っている工夫とその自信が、日々の授業や生活の場で活かされてくるといいですね。授業と部活動。それぞれの目的と目標を確認することで相乗効果が期待され子ども達の成長につながればと思います。

■黒板のメッセージ～担任への思い～

2年4組 朝の教室をのぞくと、黒板に生徒からのメッセージ。

「Happy birthday」 3日は中島先生の誕生日。〇〇歳になりました。おめでとうございます。



朝から「Happy birthday」の歌声が・・・興奮気味の中島先生。先生を笑顔にする生徒たち。素敵な朝の時間でした。

2年4組の雰囲気、また明るくなったように感じます。このクラスのかを、次のテストの追い風にしてください。